



横山幸次の 議会報告2

来年度 高齢者の補聴器購入助成が実現へ 議論戦と区民の声が区政を動かす…

23区で現在実施中の高齢者など補聴器助成制度			
中央区	35,000円	65歳以上	耳鼻科の医師が補聴器の使用を必要と認める方
千代田区	50,000円	20歳以上	耳の聴力レベルが40デシベル以上である方（所得基準あり）
文京区	25,000円	65歳以上	住民税非課税（個人）の方
新宿区	支給 (2,000円負担)	70歳以上	聴力を低下した方
大田区	20,000円	70歳以上	住民税非課税世帯
練馬区	25,000円	65歳以上	住民税非課税世帯、生活保護受給者など
渋谷区	35,000円	65歳以上	住民税非課税世帯

板橋区	20,000円	65歳以上	住民税非課税世帯
豊島区	20,000円	65歳以上	住民税本人非課税のかた
墨田区	20,000円	65歳以上	住民税非課税の方
江東区	現物支給 または 30,000円	65歳以上	区で定める所得以下の方
足立区	25,000円	65歳以上	住民税非課税世帯 聴力レベルが両耳とも40dB
葛飾区	35,000円	65歳以上	住民税非課税世帯の方
江戸川区	35,000円	65歳以上	住民税非課税の方。

日本共産党区議団は、高齢者の補聴器購入助成の実現を強く求めてきました。2月会議の本会議でも重ねて質問をしました。加齢による難聴と認知症との関係についての調査や研究も進み、今年度の厚労省の委託研究でも、難聴が認知機能低下の原因の一つになつてていることが明らかになりました。区は「長く快適に補聴器をご使用いただける支援体制構築に向け、様々な観点から検討を重ねてきた。補

聴器使用の必要性の診断や認定補聴器専門店の紹介など医師の関与や、荒川たんぽぽセンターの聞こえに閑する相談との連携などを勘案し、令和4年度から準備が整い次第、事業を開始する予定」と答弁。来年度には、実施することを明言しました。

港区では4月から助成額が上限13万7千円という定期的な助成制度が始まります（左図み参照）。

ぜひ荒川区でも、多くの方に喜ばれる、使いやすい制度を作つて欲しいと思います。

スポーツ・アクト21を活用して 都のPCR等無料検査を実施

2月25日(金)から区の施設を使って無料PCR検査を行うことになりました。



検査場所
・荒川総合スポーツセンター 4階クラブ室

检查栏

・芦川総合スポーツセンター 4階クラブ室

9:00~12:00 13:00~17:00(3月まで無休)

9:00-12:00、13:00-17:00(3月まで無休)
男女平等推進センター 〒101-21 1階創作室

・男女平等推進センター

対象者と実施期間
無症状で 飲食 イベント 旅行・帰省等の経済社会活動を

【3月25日(金)から3月31日(木)まで】

【2月25日(金)から3月31日(木)まで】

無症状で、感染不安がある都内在住の方

【2月25日(金)から3月6日(日)まで】

実施期間は、都の事業実施期間等に合わせ延長の場合あり
受けられる検査・PCR検査(唾液)抗原定性検査(鼻腔拭い液)
1日当たりの検査可能数・300件/日×2か所 = 600件/日
中止：検査の流れ

中込み、検直の流れ
主にゲリ、ゴの主／ル／ペ、じかく 東京にWEBで販売

・木トクルーフのホームページから事前にWEBで予約日時に検査場所に木トクルーフに検査を預け

- ・予約日時に検査場所に本人が行き検体を採取
予約時に発録したルームナンバーにて検査結果が回り

- ・予約時に登録したメールアドレスに検査結果が届く
感染の疑いがあった場合は、かかりつけ医等に相談、受診
(その他の区内無料検査会場や対象外の有料検査など裏面)

(その他の医療機関設置会場に対する構造物設置など表面)

「町屋さくら」のバス停に立つて考えました
区にはこのバス停で待つ方の姿が見えない?
荒川区は、コミュニティバ
ス町屋さくらの存続を頑なに
拒否しています。要するに
福祉の心をしつかり持つこと
を求めていきます。横山幸次



国議会…
トピックス

2月会議、予算特別委員会も始まりました。みなさんから寄せられた声を区政に届け実現のために力を尽くします。ご意見ご要望などお寄せください。

「」の2月会議で横山区議は、子どもと子育て世帯への支援を行うべきとして「東京都も来年度から子ども医療費の無料化対象年齢を18歳までに引き上げる」として、子ども医療費無料化の18歳までの引き上げは、都制度実施を待たず、



区の動向も注
限り早期実施
前向きな答弁
ました。



18歳まで子ども医療費無料の新年度実施求める
区は「可能な限り早期実施」を表明…

日本共産党は、ども医療費無料を18歳まで拡大することを求める質問や条例提案を繰り返し行つてきました。

区は、「他区の動向も注視し、可能な限り早期実施に努める」と前向きな答弁するよう求めました。

荒川生活実習所 (障害者施設)	計20名	(利用者12名・職員6名・ 委託事業者2名)
けんちの苑 (高齢者施設)	計30名	(利用者26名・職員4名)
すこや家・西尾久 (有料老人ホーム)	計43名	(利用者25名・職員18名)
グリーンハイム荒川 (特養ホーム)	計17名	(利用者12名・職員5名)

高齢者・障害者施設の クラスター対策を

高齢者・障害者施設の
クラスター対策を
高齢者・障害者施設では集団
感染がつづいており、定期的な
検査やリスクの高い方の重症化
予防で、早期の接種が大切です。

今週の女性の家事・育児時間は… データ 男性の5.5倍、先進国は1.9倍

日本女性の家事・育児時間は、男性の5・5倍という異常な長時間となっています。男性は、先進国平均の3分の1しかやっていません。

なぜこいつなっているのか? そもそも日本男性の労働時間が長すぎることが一つの要因。先進国平均より2時間20分も長いのです。

同時に、「家事や育児は女性の仕事」という日本社会の古い考え方も要因です。ジェンダー平等は、日本社会の「男女役割分担」という壁をなくすたたかいでもあると思います。

女性の家事・育児時間は男性の5.5倍

男女別に見た生活時間(週全体平均・1日あたり)

■ 仕事 ■ 家事・育児



日本共産党区議団は、口ナ禍で顕在化した「#生理の貧困」問題を議会でも繰り返し取上げてきました。昨年6月区議会で、日本共産党の北村あや子区議がこの問題を取り上げ、保護者の認識不足、ネグレクト、貧困など様々な理由で生

など様々な理由で生理用品を買ってもらえない子どもたちがいます。学校に生理用品があれば助かる子どもたちがいます。」として保健室だけで

も同様の質問がありました。
その後 昨年12月に第四中学校
(保健室に準備) からモデル的に
各トイレに常備する形に変えまし
た。
1月からは区内中学校全校でト
イレに設置されました。



写真は都立高校トイレ

《コロナ関連情報コーナー》

薬局での都のPCR等無料検査…予約不要

場所	検査の種類	受付
ウエルシア薬局 三ノ輪駅前店 (南千住1丁目)	PCR・抗原	月～土 9～19時
くすりの福太郎 南千住調剤薬局 (南千住4丁目 BiVi内)	PCR	月～水・土 9～19時 (土13時まで)
ぼっぱ薬局 (西日暮里2丁目)	抗原	月～金 9～13時半・15～19時 土日 9～13時半
PCR検査センター東京ラボ コロナバスター西尾久店 (西尾久1丁目)	PCR	月～金 10～18時

という声が多く寄せられていました。インターネット予約は高齢者などは利用しづらく、予約体制の検討や検査期間の延長など、希望する方が検査を受けられるように抜本改善が必要です。

集団接種・モデルな会場増設、ファイザーは1ヶ所に

ワクチン名	会場	2月	3月
ファイザー (2 1か所)	サンパール荒川(荒川1) 尾久ふれあい館(西尾久2)	実施 実施	実施 閉鎖
	日暮里ラングウッド (東日暮里5)		実施
モデルナ (2 4か所)	町屋ふれあい館(町屋1) 令和あらかわクリニック (西尾久2)	実施 -	3/3(木)~
	荒川さつき会館(荒川8)	-	3/7(月)~

図は ファイザー製ワクチンを使用する集団接種会場について 「今後の

供給が限定的である」として、尾久ふれあい館を2月いっぱいまで閉鎖し、3月からはサンパール荒川の1か所のみとなります。

また、モデルナ製ワクチンを使用する会場については、3月から女子医大移転後の新病院（令和あらかわクリニック）と荒川さつき会館の2か所をふやし、計4か所にします。